

—木造化・木質化を進めて木のまちをつくろう— 採択プロジェクトの内容(事例集) その2

平成27年度～平成28年度 サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)

平成29年3月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

はじめに

当協議会は、平成 28 年度の国土交通省補助事業として「環境・ストック活用推進事業（サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）に係る評価）」を実施し、その報告書として本書をとりまとめた。本書には、平成 27 年度から平成 28 年度に実施した「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」で採択された事業について掲載した。本事業で、平成 22 年度から平成 23 年度に実施した「木のまち整備促進事業」と平成 24 年から平成 26 年に実施した「地域における木造住宅生産体制強化事業（木造建築技術先導事業に係る評価・事務事業）」で採択された全ての事業が終了したことを機会に別冊とした。（昨年度までに竣工済みの再掲事例については一部簡略版としている。）

本書は事業報告書ではあるが、その内容は、採択プロジェクトの内容を中心としたものであり、いわゆる「プロジェクト事例集」としての色合いが濃いものとなっている。

したがって、本書は、単なる報告書に留まることなく、木造建築物等先導事業による先進事例を示すことにより、木材利用の増進、良質な木造建築物の普及促進等に向けて有効なツールとして活用することが期待されるものである。

平成 29 年 3 月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

【目次】

はじめに……………3

1. サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)に係る評価・事務事業の目的・内容……………7

- (1) 事業の概要……………9
- (2) 事業の目的……………9
- (3) 実施体制……………9
- (4) 本事業における実施項目……………9
- (5) 「サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)」の概要……………9
- (6) 本事業の実施結果 公募の実施及び応募事業数 / 評価の経緯 / 評価結果 / 採択結果……………10
- (7) 平成 28 年度「サステナブル建築物等先導事業(木造先導型)評価委員会」の全体講評及び評価のポイント 第 1 回応募事業 / 第 2 回応募事業 ……10
- (8) 平成 27 年度～平成 28 年度 採択事業一覧……………12 採択事業の所在地……………13

2. 採択事業の内容(事例集) ……15

平成 27 年度 採択事業一覧及び提案の概要……………16

平成 28 年度 採択事業一覧及び提案の概要……………18

平成
27
年度
採
択
事
業

- 採択事例38 (仮称) ポラスグループ建築技術訓練校新築工事……………22
- 採択事例39 (仮称) 新豊洲ランニングスタジアム……………31
- 採択事例40 (仮称) セルフ片山・新潟屋団地店新築工事……………37
- 採択事例41 石巻中心市街地再生 町家スタイル推進プロジェクト (立町二丁目4番地区)
- 採択事例42 国分寺フレーバーライフ社本社ビル新築工事……………41

平成
28
年度
採
択
事
業

- 採択事例 43 平取町国民健康保険病院改築事業……………46
- 採択事例 44 (仮称) 仙台市若林区荒井西タウン計画……………52
- 採択事例 45 鉄骨造+木造軸組工法による 6 階建て複合ビル計画……………56
- 採択事例 46 各務ビル新築工事……………60
- 採択事例 47 ツーバイフォー高耐力壁(SSW-14)を使用したオープン工法による (仮称) 4 階建エム・グループ本社ビル新築工事 ……64
- 採択事例 48 朝日村新庁舎建設工事……………68
- 採択事例 49 井ノ内保育園新築工事
- 採択事例 50 東和ハイシステム株式会社 社員寮新築工事……………72
- 採択事例 51 長門市本庁舎建設事業……………76
- 採択事例52 (仮称) はるのガーデン新築工事……………82
- 採択事例53 松尾建設株式会社 新社屋建設計画……………86
- 採択事例54 日光江戸村御狩場新築事業……………90
- 採択事例 55 都市住宅に国産材をたくさん使う杉三層クロスパネル J パネル (CLT) ……94
- 採択事例 56 国際基督教大学 新体育施設建設プロジェクト……………98
- 採択事例 57 北房地域新教育環境整備事業……………103
- 採択事例 58 (仮称) アイサワ工業株式会社社員寮 新築工事……………108
- 採択事例 59 北川村温泉ゆずの宿改築工事……………112

3. 資料：平成28年度サステナブル建築物等先導事業(木造先導型) / 公募内容……………117

プレスリリース(報道発表資料) ……118 募集要領……………119

1.
サステナブル建築物等先導事業
(木造先導型)に係る
評価・事務事業の目的・内容



平成 28 年度採択事業

(1) 事業の概要

本事業は、国が補助する「環境・ストック活用推進事業」のうち「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」の実施にあたり、総合的な評価・必要となる評価・事務事業を行うものである。

(2) 事業の目的

「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」の円滑な実施を図ることを目的とする。

(3) 実施体制

「一般社団法人 木を活かす建築推進協議会」（以下「当協議会」という）内に学識経験者で構成する評価委員会を設置し、総合的な評価を行った。

評価委員会は、以下のとおり建築及び木材並びに事業評価などに関する学識経験者で構成した。

<サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）評価委員会／委員構成>

委員長	大橋 好光	東京都市大学／工学部建築学科教授
委員	五十田 博	京都大学／生存圏研究所教授
委員	伊藤 雅人	三井住友信託銀行(株)／不動産コンサルティング部審議役
委員	腰原 幹雄	東京大学／生産技術研究所教授
委員	長谷見雄二	早稲田大学／理工学術院教授
委員	萩原 一郎	(独)建築研究所／防火研究グループ長
委員	林 知行	秋田県立大学／木材高度加工研究所教授

(4) 本事業における実施項目

標記実施項目は、以下のとおりであった。

- ①事業周知用のホームページ作成と事業に関する情報の提供、募集要領の整備
- ②サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）を行おうとする者からの提案の募集・受付
- ③木造建築に関する学識経験者等で構成する評価委員会の運営及び「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」を行おうとする者からの提案内容についての総合的な評価
- ④評価結果を基に国土交通省が採択を行なった者に対する補助金交付に係る次の事業
 - ・補助金交付申請の受付・審査・交付決定通知書の発行
 - ・完了実績報告の受付・審査・補助金額確定通知書の発行
 - ・補助金請求の受付・審査、補助金支払いの実施
- ⑤上記に係る問い合わせの対応等

(5) 「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」（以下「先導事業」という）の概要

標記事業の内容は、3章に示すとおりであるが、その概要を以下に示す。

先導事業の要件

標記要件は、次の各号の全てを満たすこととする。

- ①構造・防火面で先導性に優れた設計又は施工技術が導入される事業計画であること。
- ②使用する材料や工法の工夫により整備コストを低減させるなどの、木材利用に関する建築生産システムについて先導性を有する計画であること。
- ③構造材又は内外装材に木材を一定以上使用するものであること。
- ④建築基準法令上、構造・防火面の特段の措置を必要とする一定規模以上のものであること。
- ⑤木造化・木質化に関し、多数の利用者等への普及啓発を積極的に行うこととしていること、又は木造化・木質化に関する設計・施工の技術・ノウハウを積極的に公開すること。
- ⑥平成 28 年度に事業に着手するものであること。

先導事業の補助対象経費

標記経費は、次の各号に掲げるものとする。

- ①調査設計費等
- ②建設工事費（木造化・木質化による掛かり増し費用相当額）

先導事業の事業主体

標記主体は、地方公共団体、民間事業者等とする。

先導事業に対する補助率

標記補助率は、原則として、上記各経費の1/2以下とする。

(6) 本事業の実施結果

公募の実施及び応募事業数

平成28年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）公募は、それぞれ以下により行った。

- ・第1回公募：平成28年6月8日から7月15日まで
- ・第2回公募：平成28年8月31日から10月21日まで

その結果、第1回にあっては12事業（全て木造化）、第2回にあっては10事業（木造化9件、木質化1件）の応募があった。

評価の経緯

応募のあった事業について、評価委員会において、以下の手順で評価した。なお、公平性及び中立性を期するために、事業者と利害関係にある委員は、当該事業の評価を行わないこととした。

- ①応募提案についての要件の適合性、構造・防火面での技術の先導性、建築生産システムについての先導性、他のプロジェクトへの波及効果、一般への普及・啓発効果等の観点から書類審査を行った。
- ②上記①の審査結果、事業内容の詳細や事業についての考え方を、事業者に直接確認することが必要と判断された事業について、当該事業者に対するヒヤリング審査を行った。

評価結果

上記の評価を踏まえ、応募事業の中から採択事業候補として18事業（第1回：11事業、第2回：7事業）を選定した。「評価委員会の全体講評及び評価のポイント」を(7)に示す。

採択結果

上記過程を経て選定された事業が全て採択事業となった。「採択事業の一覧」及び「当該事業の内容」を2章に示す。

(7) 平成28年度「サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）評価委員会」の全体講評及び評価のポイント

全体講評

[第1回応募事業]

今回の応募では、技術的先導性に加え、普及・啓発効果が高いと見込まれる提案が見られた。構造面や防火面においては、立面的なRC造と木造軸組工法の、また、平面的なRC造と木造の組み合わせの混構造、CLT告示仕様の推進・普及啓発効果の高い計画、下層階を鉄骨造とし上層階を木造とした耐火建築物の計画、枠組壁工法で初の制震構造や既存の工法・防耐火手法を利用した未だ建設事例のない建築物の計画案があった。防火面では、2時間耐火認定のCLT床版をS造に用いるもの、初めて梁に2時間耐火木質部材を用いるもの、材料面においては、地域産材・国産材を活用するもの、新技術を導入した大臣認定の接着重ね梁の採用等、地域振興、木材利用促進に積極的に取り組む計画が見られた。

その中で、採択相当とされたプロジェクトについては、木造化についての必要な検討がなされており、構造、防火、生産、施工等の面での工夫なども見られ、先導的な木造建築物として波及・普及効果が期待できるものであった。

一方、今回採択相当と認められなかった提案は、複数棟で要件を満たそうとする計画であり、構造や防耐火での技術的先導性が見られないものであった。

[第2回応募事業]

今回の応募では、技術的先導性に加え、普及・啓発効果が高いと見込まれる提案が見られた。先導性を有する内容としては、次のとおりである。

構造面では、CLT パネル工法と木造軸組工法の平面混構造、木造軸組工法で壁・床に薄板 CLT を用いるもの、折板構造（V 型断面梁）等多様な木屋根架構への取り組み、CLT パネル工法とリブ付き CLT パネルの併用、CLT パネル工法と在来工法床組と大断面集成材によるラーメン架構の組み合わせ等が見られた。

防火面では、準防火地域の準耐火建築物で燃えしろ設計を積極的に採用し内部あらかしとするもの、燃えしろ設計と内装制限を考慮しながら大規模な内部あらかし空間を実現するもの、CLT パネル工法建築物を RC 造の部分配置で別棟としているもの等が見られた。

また、材料面においては、地域産材・国産材の活用などにより地域振興や木材利用促進に積極的に取り組む計画が複数見られた。そうした中で、採択相当とされたプロジェクトについては、木造化についての必要な検討がなされており、構造、防火、生産システム等の面や遮音性での工夫なども見られ、先導的な木造建築物として波及・普及効果が期待できるものであった。

一方、今回採択相当と認められなかった提案は、構造面では目新しさがなく水平力に対する配慮が乏しい、防耐火に関しては不慮の対策への検討や工夫がされていない、さらには、外装の木質化の劣化に対する配慮もされていないなど、技術的先導性が見られないものであった。

評価のポイント

本事業の評価のポイントとして以下の項目が挙げられる。今後の提案内容の検討に際しての参考とされたい。

(1) 構造、防火面における先導性等について

構造面（例：構造部材、接合方法又は既存の構造方法の組み合わせ）や防火面（例：燃えしろ設計、耐火部材の使用等）において先導性を有するとともに、それらの技術の実現に支障がないと判断されるものであること。

(2) 建築生産システムにおける先導性等について

効率的な生産方法や施工方法の導入など、生産面で先導性に優れた技術等が導入される事業計画であること。また、コスト面で課題となる木材材料の調達等について、自治体や研究機関等関係者との連携による相当の工夫が見られること。

(3) 技術等の普及可能性について

上記（1）及び（2）の先導的な技術等が、一般公開されるか、外部への積極的な発信が計画されており、第3者が当該技術の考え方を応用して類似の設計を行うことが可能なものであること。

(4) その他の評価ポイントについて

上記（1）から（3）に加え、用途、規模、立地条件等による話題性・普及性、国産材の積極的な活用の提案、防耐火などに関して法遵守以上に避難方法等の熟考がなされ 地域のモデルケースとなると判断されるものがあれば、評価の対象となる。

(8) 平成27年度～平成28年度 採択事業一覧

補助種別	プロジェクト名称	建設地	提案者（建築主）
38 木造化	(仮称) ボラスグループ 建築技術訓練校新築工事	 埼玉県 越谷市	株式会社 住宅資材センター
39 木造化	(仮称) 新豊洲ランニングスタジアム	東京都 江東区	太陽工業株式会社
40 木造化	(仮称) セルフ片山・新潟屋団地店新築工事	新潟県 新潟市	片山商事株式会社
41 木造化	石巻中心市街地再生 町家スタイル推進プロジェクト (立町二丁目4番地区)	宮城県 石巻市	立町二丁目4番地区優良建築物等 整備事業建設協議会
42 木造化	国分寺フレーバーライフ社本社ビル新築工事	東京都 国分寺市	株式会社 フレーバーライフ社
43 木造化	平取町国民健康保険病院改築事業	北海道沙流郡 平取町	北海道 平取町長
44 木造化	(仮称) 仙台市若林区荒井西タウン計画	宮城県 仙台市若林区	コペルハウス株式会社
45 木造化	鉄骨造+木造軸組工法による 6階建て複合ビル計画	東京都 大田区	株式会社 アライホールディング
46 木造化	各務ビル新築工事	東京都 豊島区	合同会社 ポール企画
47 木造化	ツーバイフォー高耐力壁（SSW-14）を使用した オープン工法による (仮称) 4階建エム・グループ本社ビル新築工事	長野県 長野市	株式会社 MoNOplan
48 木造化	朝日村新庁舎建設工事	長野県東筑摩郡 朝日村	長野県 朝日村長
49 木造化	井ノ内保育園新築工事	京都府 長岡京市	社会福祉法人 京都明星社会福祉会 (設立準備団体)
50 木造化	東和ハイシステム株式会社 社員寮新築工事	岡山県 岡山市	東和ハイシステム株式会社
51 木質化	長門市本庁舎建設事業	山口県 長門市	山口県 長門市長
52 木造化	(仮称) はるのガーデン新築工事	高知県 高知市	社会福祉法人 ふるさと会
53 木造化	松尾建設株式会社 新社屋建設計画	佐賀県 佐賀市	松尾建設株式会社
54 木造化	日光江戸村御狩場新築事業	栃木県 日光市	株式会社 時代村
55 木造化	都市住宅に国産材をたくさん使う 杉三層クロスパネルJパネル（CLT）	東京都 荒川区	(個人)

平成27年度採択事業

平成28年度採択事業

56	木造化	国際基督教大学 新体育施設 建設プロジェクト	東京都 三鷹市	学校法人 国際基督教大学
57	木造化	北房地域新教育環境整備事業	岡山県 真庭市	岡山県 真庭市長
58	木造化	(仮称) アイサワ工業株式会社 社員寮新築工事	岡山県 岡山市	アイサワ工業株式会社
59	木造化	北川村温泉ゆずの宿改築工事	高知県安芸郡 北川村	高知県 北川村長

平成27年度～平成28年度 採択事業の所在地

- 38 ～ 42 平成27年度採択事業
- 43 ～ 59 平成28年度採択事業



